

貿易と関税・目次 (2001年1月～12月)

タイトル	著者名	年数	月数	頁
【単発・特集等】				
・新世紀幕開けの世界経済を展望する	大場智満	2001	1	10
・UR後のEC相殺関税法及びその運用について	ポール・ウェ アー、エド ウィン・ベル ムースト共著 ／氏家輝雄 (訳)	2001	1	25
・国際法協会ロンドン大会国際通商法の会議に出席して	小原喜雄	2001	1	135
・独占禁止法域外適用に関する国際法的考察・1—米国の国家実行を題材に—	森田清隆	2001	2	51
・米国の政府調達制裁条項とGATT/WTO・1—政府調達制裁条項の導入と発展—	出嶋陽介	2001	2	66
・最近における関税政策・税関行政について	寺澤辰麿	2001	3	6
・東アジア自由貿易圏の形成に向けて	古川栄一	2001	3	18
・日本経済の展望と課題	八代尚宏	2001	4	10
・民間及び政府等による平成十三年度の経済見通し—国際経済指標を中心に—	赤井久宣	2001	4	52
・コンピュータプログラムの保護と在欧日系企業 (上)—TRIPS協定の下での著作物保護—	ジャン・ル イ・グータル ／榊原美紀、 尹東烈 (訳)	2001	4	59
・米国の政府調達制裁条項とGATT/WTO・2—政府調達制裁条項の適用事例—	出嶋陽介	2001	4	91
・独占禁止法域外適用に関する国際法的考察・2—米国の国家実行を題材に	森田清隆	2001	4	100
・内外から見た日本経済	リチャード・ クー	2001	5	6
・第3回アジア欧州会合首脳会合について	青山繁俊	2001	5	25
・貿易取引通貨別比率の公表について	水谷浩隆	2001	5	52
・二〇〇〇年IST会議「あらゆる人々のための情報化社会」—ワークショップ「抵触法と電子商取引」を中心として	横溝 大	2001	5	61
・二国間投資協定に基づくICSIDへの紛争付託—仲裁判断で示された現地子会社の取扱い—	岩瀬真央美	2001	5	73
・これからの日米関係	栗山尚一	2001	6	6
・コンピュータプログラムの保護と在欧日系企業 (下)—TRIPS協定の下での著作物保護—	ジャン・ル イ・グータル ／榊原美紀、 尹東烈 (訳)	2001	6	22
・独占禁止法域外適用に関する国際法的考察・3—米国の国家実行を題材に	森田清隆	2001	6	63
・米国の政府調達制裁条項とGATT/WTO・3—GATT/WTO政府調達制裁協定の下での政府調達制裁条項—	出嶋陽介	2001	6	89
・ついに実現した東アジア協力体	古川栄一	2001	7	12
・中国大陸・台湾のWTO加盟と海峡兩岸経済貿易関係の展望	賈 宝波	2001	7	19
・アジア通貨危機とプロジェクトファイナンス・1	和気洋子／諸 伏哲	2001	7	28
・WTO入門・5—関税と関税評価	宇野悦次	2001	7	56
・最近の貿易問題と日本のスタンス	畠山 襄	2001	8	6
・独占禁止法域外適用に関する国際法的考察・4—米国の国家実行を題材に—	森田清隆	2001	8	51
・アジア通貨危機とプロジェクトファイナンス・2	和気洋子／諸 伏哲	2001	8	52
・次世代産業と都市再生	竹内佐和子	2001	9	10
・戦略的な通商政策の策定と実施を求める	経済団体連合 会	2001	9	20
・情報通信技術 (IT) 関連品目の範囲と貿易動向について	水谷浩隆	2001	9	31
・WTOにおける国際電子商取引のルール化へ向けて—自由貿易の促進と利用者の安全性確保の両立—	田村次朗	2001	9	36
・サイバー・クライシス—ITセキュリティに鈍感な日本のリーダー層が生む危機—	宮脇恭介	2001	10	10
・輸入トマトをめぐる米国の暫定セーフガードの実態と課題—メキシコ産トマトのケース—	岩田伸人	2001	10	25
・WTO・TRIPS協定シンポジウム記録—WTOの貿易関連知的所有権 (TRIPS) 協定の諸問題・1		2001	10	64
・IT革命と構造改革	月尾嘉男	2001	11	14
・新ラウンド交渉の立ち上げに向けて	経済団体連合 会	2001	11	23
・予防原則とWTO—有害性の科学的証拠がなくても輸入禁止にできるか	岩田伸人	2001	11	32
・WTO・TRIPS協定シンポジウム記録—WTOの貿易関連知的所有権 (TRIPS) 協定の諸問題・2		2001	11	63
・当面の内外の諸情勢について	的場順三	2001	12	10
・GATSセーフガード規則策定に関する最近の動向	森田清隆	2001	12	43
我が国のセーフガード制度の問題と提案	岩田伸人	2001	12	72
【連載】				
◆潮流・国際経済の中から				
153・ネットバブル崩壊と中国経済の台頭が教える今後の進路	島田克美	2001	1	8
154・日米の株価下落と経済制度改革の課題	〃	2001	2	8
155・流通大手の不振から学ぶ時流経営論の現実無視	〃	2001	3	4
156・景気に見放された死に体政権の負の遺産を清算しよう	〃	2001	4	8

貿易と関税・目次 (2001年1月～12月)

タイトル	著者名	年数	月数	頁
157・組織改編の季節、第一線の士気を問う	〃	2001	5	4
158・小泉政権下、市場主義とナショナリズムは共存できるか	〃	2001	6	4
159・覇権志向を強めるアメリカと日本の立場	〃	2001	7	4
160・中国経済のプレゼンス増大とその意味	〃	2001	8	4
161・反グローバル派の抗議は何を意味するか	〃	2001	9	8
162・IT不況下で分裂する政策論の不毛	〃	2001	10	8
163・テロへの対抗における世界的協調とアメリカ化の限界	〃	2001	11	12
164・不況下の経営で重みを増す現場の士気と企業の信用	〃	2001	12	8
◆ボーダーレス・エコノミーへの法的視座				
115・GATSの下での貿易・投資の更なる自由化をめぐる—APEC向け提出文書 (石黒報告書) の邦訳 (上)	石黒一憲	2001	1	46
116・GATSの下での貿易・投資の更なる自由化をめぐる—APEC向け提出文書 (石黒報告書) の邦訳 (下)	〃	2001	2	20
117・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (上)	〃	2001	3	31
118・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (中-I)	〃	2001	4	30
119・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (中-II)	〃	2001	5	34
120・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (中-III)	〃	2001	6	34
121・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (中-IV)	〃	2001	7	40
122・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (中-V)	〃	2001	8	21
123・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (中-VI)	〃	2001	9	53
124・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (中-VII)	〃	2001	10	36
125・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (中-VIII)	〃	2001	11	46
126・真のIT革命の達成と『NTT解体論議の愚かさ』—『国内』『公正競争』論議の暴走VS. 『NTTの世界的・総合的な技術力』への適正なる評価 (中-IX)	〃	2001	12	24
◆見えてきた欧州統合の最終形態				
4・難航する統合の象徴ユーロ	藤原豊司	2001	1	18
5・ニース条約、東への拡大に道を開く	〃	2001	2	36
6・基本権憲章、EU憲法の先駆となるか	〃	2001	3	25
7・本格化する中・東欧諸国の取り込み	〃	2001	4	22
8・狂牛病、口蹄疫でCAP大改革へ	〃	2001	5	18
9・EU、独自の緊急対応部隊創設へ	〃	2001	6	14
10・二十一世紀の欧州は独主導か	〃	2001	7	6
11・仏首相は「民族国家の連邦」提唱	〃	2001	8	16
◆特別企画・WTOとは何だ				
第十一回				
WTO入門・4一モノの貿易協定	宇野悦次	2001	1	86
地域経済統合における自由貿易と地球環境保護の法的調整・3—NAFTA—〇四条の示唆—	川瀬剛志	2001	1	117
GATT/WTO体制の下での一般特惠制度・2	大竹宏枝	2001	1	125
第十二回				
WTO新サービス交渉に於ける交渉技術	宇山智哉	2001	2	10
GATT/WTO体制の下での一般特惠制度・3	大竹宏枝	2001	2	91
◆EU法の最前線				
14・同一企業グループの会社間の営業譲渡と雇用継承	上田廣美	2001	1	159
14・アンチ・ダンピング手続きにおける消費者団体の権利—欧州消費者連盟事件—	須網隆夫	2001	2	96
15・EUの遺伝子組み換え体 (GMO) 規制の動向	中村民雄	2001	3	39
16・廃棄物リサイクルと物の輸出制限/優越的地位の濫用	山岸和彦	2001	4	105
17・EC法秩序におけるWTO法の位置付け—ボルトガル対理事会事件	庄司克宏	2001	6	93
18・たばこ広告指令判決	大藤紀子	2001	7	77
19・ニース条約によるECの機構改革	中村民雄	2001	8	77
20・EU競争法と垂直規制に関する新しい一括適用免除規則について	由布節子	2001	9	81
21・数量制限と「同等の効果を有する措置」の範囲	須網隆夫	2001	10	81
22・ニース条約によるEC共通通商政策規定の改正—新政策の始まり?—	中西優美子	2001	11	83
23・EC条約三九条 (旧四八条) の水平的直接効果	西連寺隆行	2001	12	89
◆IMFの法と権限逸脱				
3	谷岡慎一	2001	1	155
4	〃	2001	3	93
5	〃	2001	5	91
◆日本のフードシステムと総合商社の統合行動				
5・畜産物関連ビジネスと食品流通を中心に	島田克美	2001	1	60

貿易と関税・目次（2001年1月～12月）

タイトル	著者名	年数	月数	頁
6・畜産物関連ビジネスと食品流通を中心に	〃	2001	3	48
◆躍進する中国—WTO加盟と今後のゆくえ				
1・国際化が加速する中国経済	阮 蔚	2001	9	26
2・中国の世界的生産基地化—中長期視点から見た中華ビジネスへの影響と対応—	美野久志	2001	10	20
3・二十一世紀の大産業となる「中国のサービス業」—サービス業の離陸は、中国の経済発展と国際ビジネスを変える—	〃	2001	12	64
◆WTO体制下のアンチダンピング制度				
1・ECのインドからの綿製ベッドリネンに対するアンチダンピング措置	福永有夏	2001	9	48
2・米国の、一メガビット以上の韓国産DRAMSに対するアンチダンピング措置	小林友彦	2001	11	40
3・タイのポーランド産H型鋼に対するダンピング防止措置（DS一三二）	濱田太郎	2001	12	17
◆戦中・戦後の税関史発掘				
1・空白の戦中・戦後税関史	朝倉 弘教	2001	4	50
2・乗船監吏の今昔	安藤 平	2001	5	50
3・大棧橋こぼれ話	倉茂四郎	2001	6	20
4・北方領土と税関	斎藤良夫	2001	7	38
5・流球原産品問答	安藤 平	2001	9	46
6・戦中の大蔵省関税鑑査業務Ⅰ	坪井哲郎	2001	10	56
7・戦中の大蔵省関税鑑査業務Ⅱ	〃	2001	11	44
8・終戦前後の断片的思い出	成田博信	2001	12	22
◆海外事情掲示板				
1・体験的米国教育事情	前田茂樹	2001	10	34
2・黒人企業家の育成	服部 治	2001	11	30
3・イギリスがユーロに加入する日は	木村 誠	2001	12	56
◆産業界はいま、				
1・札幌通運		2001	12	58
◆今月の商品				
1・鉄鋼		2001	1	164
2・タクシー業		2001	2	101
3・私鉄		2001	3	79
4・百貨店		2001	4	101
5・眼鏡		2001	5	33
◆ブックレビュー				
『「見えない敵」に侵される日本 サイバークライシス』	宮脇磊介	2001	4	66
『国際プロジェクト・ビジネス』	齋藤祥男／絹 卷康史	2001	4	67
『中世フランドル都市の生成』	山田雅彦	2001	8	71
◆国際機関情報				
WTO・WCO・EU・APEC		2001		
◆貿易統計解説				
貿易統計・国際収支		2001		